

土地改良区を元気にする情報紙！



# 水土里ネット パワーアップナビ



## 目次

(写真) おやま田んぼアート 2019 渡良瀬遊水池会場  
(※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

- 地域と共に 水土里ネット思川西部(思川西部土地改良区)
- 施設管理准組合員制度の利用をご検討下さい
- 「田んぼダム」とは…?
- 土地改良区のホームページを開設してみませんか？

2020/9

Vol. 16

TAKE FREE

# 地域と共に

このコーナーでは、地域の農業振興や地域社会との協働・交流活動に取り組んでいる土地改良区を紹介します。

## 水土里ネット思川西部 (思川西部土地改良区)

所在地：小山市大字中里870  
理事長：松本 益一  
設立：平成21年4月1日  
地区面積：2,210ha  
組合員数：1,938名



(写真左上) 草刈り (写真右上) 堀ざらい

(写真左下) 生物調査 (写真右下) コキアの植栽

水土里ネット思川西部では、土地改良施設の管理に当たるとともに、多面的機能支払の活動組織（以下「活動組織」とします。）の構成員にもなっており、様々な協働活動に参加し、活動組織の事務も引き受けています。

今回は、活動組織である思川西部農村環境保全会の会長も務めておられる松本理事長、平本事務局長、大塚業務主任にお話を伺いました。



協働活動や、事務受託についてお話しする松本理事長（右）、平本事務局長（中央）、大塚業務主任（左）

◆活動組織との関わりや、協働活動について教えてください。

⇒土地改良区としては、草刈り、水路の堀ざらいや軽微な補修を多面的機能支払交付金の活動として位置づけてもらい、活動組織に協力してもらっています。また、市や活動組織と連携して田んぼアート（表紙写真）の活動を行うほか、植栽活動や生物調査等の活動にも協力しています。

◆活動組織との関わりを通じてどのようなメリットがありましたか？

⇒活動組織によって土地改良施設の一部が保全されることで、**維持管理費の節減**になりました。また、活動組織との関係が密接になり、**工事についての意見も言ってもらえる**ようになりました。協働活動を通じて地域住民が集まり、**地域の問題が共有**できるということも、間接的ですが、土地改良区のメリットになっていると思います。

◆協働活動には非農家の方も参加しているのですか？

⇒生物調査、植栽、清掃活動等に多くの非農家が参加しています。また、近隣の小学校からの依頼で「田んぼの学校」の活動も行っています。生物調査では講師の方から生き物を育む田んぼの機能や農業の重要性について教えてもらい、「田んぼの学校」では子どもたちに農業を教えることで、**非農家の方の地域の農業に対する理解**を深めることができます。

◆活動組織の事務も受託されているようですが、どのようなメリットがありましたか。

⇒土地改良区は活動組織から事務を委託され、**担当職員**を雇用し、**活動組織との連携が十分に図れる**ようになりました。

活動組織は事務を委託することで、**活動に専念**できるようになりました。煩雑な事務のために活

動を休止していた活動組織もありましたが、事務委託をしたことにより活動を再開したところもあります。



土地改良区事務局：活動組織の会計、申請、活動記録等の事務も行う。現在事務員は7名。

◆**昨年の台風の被害はどうでしたか？**

⇒揚水機7か所、頭首工3か所が被災し、施設の被害総額は17,257千円にも及びました。そのほかにも一部の農地に稲わらが堆積してしまうなどの被害もありました。

◆**土地改良区や地域で行った復旧活動はありますか？**

⇒土地改良区と活動組織で連携し、大規模なものについては土地改良区で災害復旧事業申請をして対応するとともに、稲わらの堆積被害や、法面崩壊などの**比較的小規模なものについては活動組織に協力してもらい、復旧を行いました。**

◆**活動組織と連携し、田んぼダムの整備も進めていると聞きましたが、整備状況はどうなっていますか？**

⇒多面的機能支払交付金を利用し、平成29年度より活動組織と連携して、地区内の田んぼに軽量落水柵（写真）を設置し、**田んぼダム（※田んぼの貯水能力を高め、少しずつ排水することで洪水を軽減する）**の取組みを進めています。毎年約200haに軽量落水柵を設置しており、令和元年度までに地区内の約560ha（軽量落水柵1,533基）で整備を完了しています。今後も整備の拡大を計画中です。

◆**土地改良区と活動組織が行うハード対策として田んぼダムは有効だと思いますか？**

⇒一つ一つの田んぼが貯水機能を持つことになるので有効だと考えます。また、設置している軽量落水柵は排水穴にゴミが詰まるといったこと

もなく、**維持管理の手間もほとんどありません。**



（写真）軽量落水柵の説明を行う平本事務局長

◆**今後大雨・洪水に対し、土地改良区としてどのような備えができると思いますか？**

⇒**田んぼダム**の取組みを進めていくことと、**災害時の体制**を決めておくことが重要と考えます。当改良区では警報発令時は施設管理者や担当役職員への連絡を行い、各排水機場に人員を配備するとともに、事務局が活動組織と連携して被害状況等の情報収集を行い、比較的小規模な復旧作業については活動組織で行うよう意思統一を図っています。

それに加えて、大雨時の稲わらの流出を防ぐため、組合員に対して**稲刈りが終わったらすぐに耕運するよう周知**しています。その効果もあって令和元年の台風での稲わらの堆積被害も軽減できました。

◆**施設管理准組合員制度の利用をご検討下さい。**

平成30年の土地改良法改正により、土地改良施設の管理に関連する活動を行う団体を「施設管理准組合員」と位置づけることができるようになりました。

〈制度導入によるメリット〉

・土地改良区

⇒活動団体に対し、法に基づいて正式に草刈りや堀ざらい等の維持管理の協力要請ができるようになる。

・活動団体

⇒土地改良区の総（代）会に出席し、自然環境、生活環境を考慮した通水時期や水量、工事内容などについて意見を言うことができる。

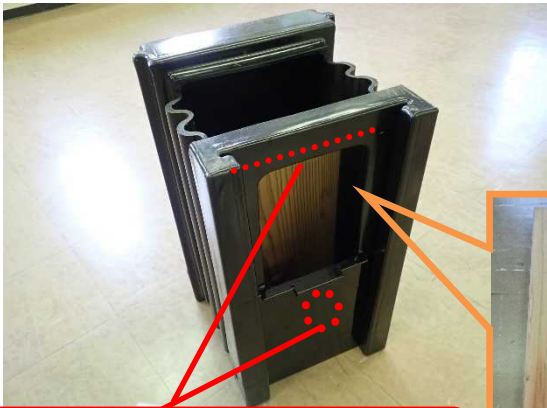
## 「田んぼダム」とは…？

平成 27 年の関東・東北豪雨、令和元年の東日本台風を代表に、近年、豪雨による浸水等の被害が増加しています。

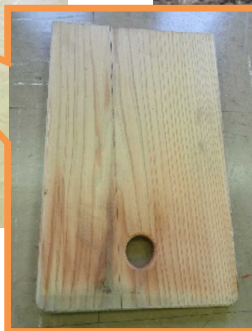
田んぼダムとは、雨水を水田に一時的に溜め、少しずつ排出することで、洪水を軽減する機能です。排水口に調整板を取り付けたり、思川西部土地改良区（写真）のような軽量落水柵を設置したりすることで、比較的簡単に田んぼにダムの機能を持たせることができます。

【軽量落水柵】

【設置の様子】



大雨時は木製板の水位まで水をせき止め、下の小さな排水穴から少しずつ排水。



地域一体となつての取組が効果的です。

田んぼダムを活動組織の計画に位置づけることで、多面的機能支払交付金を利用して設置を行うことができます。

## 土地改良区のホームページを開設してみませんか？

ホームページを開設した土地改良区からは…

- ・組合員資格得喪や他目的使用などの各種申請書類をダウンロードできるようになった。
- ・活動をアップすることで非農家への PR にもつながっている。
- ・決算関係書類の公表をホームページ上で行えるようになった。

という声が上がっています。

水土里ネットとちぎでは専用サーバーの貸し出しも行っています。

詳しくは水土里ネットとちぎ総務課へお問い合わせください。

お問い合わせ先

水土里ネットとちぎ総務課

TEL : 028-660-5701

E-mail : soumu@tcgdoren.or.jp

～編集後記～

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、県内においても感染者が増加している厳しい状況が続いています。土地改良区役職員のみならず、組合員のみならずにおかれましても、三密回避やマスク着用、手指のアルコール消毒など、引き続き感染防止対策にご協力をお願いいたします。

思川西部土地改良区の役職員の皆様、ご協力ありがとうございました。紙面をお借りして、心より感謝申し上げます。（※取材は7月に新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して行わせていただきました。）

県では、今後とも分かりやすい紙面づくりを心掛けて参りますので、ご感想やご意見等がありましたら、下記までお寄せください。